

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成18年10月～		根拠法令・規程等		旅券法ほか	
総合計画	大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり		問合先	担当課(室)	市民課	
	中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営			職・氏名	市民係長 大村恭子	
	小項目	施策	16	その他事務管理(戸籍等)			電話	0869-64-1818	
事務事業名		05	旅券発券事務						

事業の実施		対象(誰・何に対して)	市内に住所または居所を有する住民	
目的(何のために)		旅券の交付を受ける住民サービスの向上		
行政活動(どのような方法で)		旅券の申請及び交付に関する事務を適切かつ円滑に処理する		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		県から市に事務が移譲され、住所地等での申請受付ができることにより利便性が向上した。また本籍地が市内であればワンストップサービスが実現できるようになった。		

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	新規発給	件		445	834	795
	記載事項の訂正	件		2	9	11
	紛失	件		0	3	7
	増補	件		1	3	3
	渡航先の変更	件		0	0	0

実績	事業費		千円	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	直接事業費			1,972	2,275	2,374	
	必要人員	人件費		0.09人	0.15人	0.16人	
	事業費	計		2,755	2,878	3,651	
	財源	国	支出金		274	521	585
		受	益者負担		0	0	0
		線	入金		0	0	0
		市	債		0	0	0
		その他( )			0	0	0
	一	般財源		2,481	2,357	3,066	
受	益者負担比率	%					

結果指標	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績		
	旅券(パスポート)の新規発給件数		説明	旅券(パスポート)を新規に発給した件数				
	結	果指標	量	445	834	795		
	対	前年	比	—	187.4%	95.3%		
	活	動	コスト	2,736,551	2,827,152	3,557,040		
	単	位	当	たり	コスト	6,150	3,390	4,474
	旅券(パスポート)の記載事項の訂正の発給件数等		説明	旅券(パスポート)の記載事項の訂正をおこなった件数等				
	結	果指標	量	3	15	21		
	対	前年	比	—	500.0%	140.0%		
	活	動	コスト	18,449	50,848	93,960		
単	位	当	たり	コスト	6,150	3,390	4,474	

事業の成果		成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
旅券(パスポート)発券事務	目標値(A)	15.00	15.00	15.00	13.00	10.00	
	実績値(B)	15.00	15.00	19.00	到達目標年度		
	達成率(B/A)	100.00	100.00	68.42	毎年度		
成果指標設定の考え方・式や説明							
1件あたりにかかる事務時間(分)							

事務事業の評価		市の関与の妥当性		妥当性評価<A~E>	B		
市の関与の妥当性	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある			判定理由・課題認識		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明			旅券法の改正に伴い、平成18年10月から岡山県より権限移譲された事業であり、各法令等で定められた事業である。 また、住所地等で申請が可能となり、本籍地が市内であればワンストップサービスで申請・交付まで受けられるため事業の実施は妥当である。		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			効率性評価<A~E>		C
	手	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている			判定理由・課題認識		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている			有効性評価<A~E>		C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている			判定理由・課題認識		
市民参画度		職場研修を実施するなど市民サービスの向上に努めている。 また、岡山県から権限委譲された当初より、臨時職員を1名配置し必要最小限の人員と予算で事務を実施しており、これ以上の削減は困難と考える。 ※直接事業費に臨時職員1名分の賃金等を計上。			初年度(平成18年10月から)よりも申請・交付等の事務処理時間の短縮が若干図られた。今後も迅速かつ適正な対応に努めていく。		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度状況		目標値	結果指標量①	結果指標量②	結果指標量③	結果指標量④	結果指標量⑤	結果指標量⑥	結果指標量⑦
状況	旅券(パスポート)の新規発給件数	旅券(パスポート)の記載事項の訂正の発給件数	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務	旅券(パスポート)発券事務
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
説明	事務処理をさらに正確、適切かつ迅速にするため、職場内研修等を引き続き実施していく。また、接遇面においても、親切・丁寧な対応を心がけていく。								

総合評価		評価区分<A~E>	C
平成18年10月から移譲された事業である。事務処理時間の短縮や職員の共通知識を深めることを目指し研修会への参加と職場研修を積極的に行ってきた。申請から交付までの旅券発給事務の手続き等を適切かつ迅速に行うことができ、市民の方にも満足いただける対応ができたことと考える。			

平成22年度以降の方向性・内容		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	引き続き、1件あたりに要す事務時間の削減に努めながら、親切・丁寧な対応を心がけお客様満足度を高めていく。								
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果					